

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2016, 11, 10 NO, 194

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170

区議会控室 3312-2111(内)2319



杉一小複合化計画に重大問題発生 前提条件が崩れた計画は見直しを・・・



杉一小に隣接する民家の屋敷林（写真右）

隣接する屋敷林の敷地に病院が移転

阿佐谷北1丁目にある杉並第一小学校の複合化計画(※)の大前提を揺るがす新事実が明らかになりました。複合化した後、災害時に児童の避難場所と想定していた学校隣接の屋敷林(写真)の用地に、近隣の病院が移転してくるというのです。

校庭に代わる防災空地を喪失

区が進める杉一小複合化に伴う屋上校庭案は、地上校庭とは異なるため、防災空地に成りえません。そのため、区は、屋上校庭案を採用する

※杉一小複合化計画

区内で最も狭い杉一小に、産業商工会館と阿佐谷地域区民センターを統廃合する計画。

新校舎は、3つの施設機能を詰め込むために大規模化せざるを得ず、屋上に校庭を持つてくるプランとなっている。

災害時、震災救援所として役割を果たす小学校から地上校庭が無くなることは、地域の防災機能を弱めることにつながるため、地域では不安の声が上がっている。

際、災害時の避難場所確保のために、隣接する屋敷林の用地を活用するので、児童の安全に支障はないとしていました。

しかし、明らかとなった新事実は、これまでの区の言い分を根底から覆すものであり、屋上校庭に代わる防災空地を喪失する事態となっています。

計画は見直し、再検討を

屋上校庭に代わる防災空地を確保できず、児童の安全性を担保できなくなったことは重大です。これまでの計画の大前提が崩れるものであり、複合化計画をそのまま進めることは問題です。

計画はいったん凍結し、地域住民の意見を聞く機会を設け、地域的な議論を尽くすことが必要です。また、防災拠点としての学校のあり方を再検討すべきです。

廃止決定された高円寺南5丁目防衛省宿舍跡地 特養ホーム等の施設整備決定！



当該用地を活用した特養ホーム整備概要

- 面積：2586.30 m²（区が南側1403 m²を活用）
- 取得方法：定期借地による土地貸付（50年）
- 施設整備：特別養護老人ホーム、ショートステイ等（定員70人程度）
- 整備主体：社会福祉法人（区が施設整備・運営する法人を公募・選定）
- 開設予定：2019年度

高円寺南5丁目にある廃止決定された国家公務員宿舍跡地（防衛省宿舍跡地）について、区は、用地の半分を活用し、特別養護老人ホーム整備を進めることを決定しました。

当該国有地の活用については、今春、特養ホーム整備用地として活用する方針を決めていましたが、東京都も近隣の杉並消防署高円寺出張所の建て替え用地としての活用を要望していたため、都・区間で活用についての協議をしていました。

党区議団は、議会質疑でも当該用地に福祉施設整備を求めるとともに、地元の党支部等と共同し、用地活用についてのアンケートを集め、昨年末、区に集計結果を提出してまいりました。今回の決定は、地域住民の運動と要望が実現したものであり、重要な成果です。

なお、都が活用する当該用地の半分は、近隣の消防署出張所の移転用地として活用されます。今後、区は移転後の出張所跡地についても活用を要望する方針で、認可保育所の整備を中心に検討を進めています。

後援会旅行で伊香保温泉へ



（榛名湖畔から榛名山を望む）

11月8日、くすやま地域後援会の日帰りバス旅行で、群馬県・伊香保温泉に行ってきました。紅葉に彩られた榛名山、石段街の散策、茶褐色の温泉などを満喫し、後援会のみなさんと交流を深め、リフレッシュすることが出来ました。

アベ政治チェンジ！ 杉並デモに300名参加



10月30日、杉並区内で戦争法廃止等の活動を行っている団体「NO WAR杉並」が主催した「アベ政治チェンジ・杉並デモ」が取り組まれ、高校生から高齢者まで幅広い年齢層の市民約300名が参加。「戦争法の発動を許さない」等の声をあげ、区内を練り歩きました。